

開催報告 在宅医療・介護 ICT連携推進事業「ナラティブブック秋田」 第3回患者・家族向け説明会

平成29年2月25日（土）午後2時より由利本荘市ポートプラザアクアパルにて「在宅医療・介護 ICT連携推進事業／ナラティブブック秋田 第3回患者・家族向け説明会」が下記の内容にて開催され、60名が参加した。

最初に、市民講演として「命といのち ～ものがたりの力～」と題して、一般社団法人ナラティブ・ブック 代表理事（富山県砺波市・ものがたり診療所 所長）の佐藤伸彦氏をお招きし、漢字の「命」とひらがなの「いのち」について考え、双方のバランスを保つために、ものがたりの力が必要であるという先生のお考えについてご講演いただいた。

休憩の後には、「由利本荘・にかほ医療圏における在宅医療の現状と課題」と題して、由利本荘市長 寿支援課の高橋鈴子氏が行政の立場から、由利訪問看護ステーションの鈴木知栄子氏が訪問看護師の立場から、由利調剤薬局南店の森川晃代氏が薬剤師の立場から、最後に医師会居宅介護支援センターせんがりの菊池幸恵氏が介護支援専門員の立場で発表された。

続けて、基調講演として「地域の医療・介護 ICT手帳 ナラティブブック秋田」と題して、由利本荘医師会副会長の伊藤伸一氏より、ナラティブブックが目指す患者本位の思いまで共有する在宅医療における情報共有に関して、これまでの取り組みやテレビの取材番組の放送をもとに、実際に利用している場面を示しながら説明された。

その後、当システムを開発・運営しているクロスケアフィールド(株)の岡崎光洋氏より講師の説明を踏まえて、iPad等を用いて具体的にどんなことができるのか、ナラティブブック秋田の機能に関して説明いただいた。

<<説明会プログラム>>

司会：ナラティブブック秋田運営委員会
委員 伊藤伸一

1. 開会の辞

由利本荘医師会 会長 渡邊 廉

2. 「命といのち ～ものがたりの力～」

一般社団法人ナラティブ・ブック 代表理事
ものがたり診療所 所長 佐藤伸彦

3. 由利本荘・にかほ医療圏における在宅医療の現状と課題

由利本荘市長寿支援課
保健師 高橋鈴子
由利訪問看護ステーション
看護師 鈴木知栄子
由利調剤薬局南店
薬剤師 森川晃代
医師会居宅介護支援センターせんがり
介護支援専門員 菊池幸恵

4. 地域の医療・介護ICT手帳 ナラティブブック秋田

由利本荘医師会 副会長 伊藤伸一

5. 地域医療連携・ナラティブブックの紹介

クロスケアフィールド株式会社
代表取締役社長 岡崎光洋

6. 閉会の辞

由利本荘医師会会長・講師の紹介



(渡邊 廉 会長)



(佐藤伸彦 氏)



(高橋鈴子 氏)



(鈴木知栄子 看護師)



(森川晃代 薬剤師)



(菊池幸恵 介護支援専門員)



(伊藤伸一 副会長)



(岡崎光洋 氏)

説明会場の様子

